

一誠会 星 雅人議員 財政健全化について

質問(一誠会・星 雅人議員)
平成26年度の予算が財政指標に与える影響について及び公会計研究所の公会計をどのように参考にしたのか伺います。

答弁(財務部長)
財政指標の主なもの、財政力指数、経常収支比率、公債費負担比率、財政健全化判断比率である実質公債比率、将来負担比率等が上げられます。

経常収支比率については、人件費や扶助費、公債費等の経常的な支出のうち、一般財源である市税



軌道に乗り始めたグリーン・ツーリズムの事業
(いちご収穫体験)

等がどの程度充当されているかをあらかず指標であり、平成25年度予算との比較で、人件費等の義務的経費の伸びよりも、市税等の一般財源の伸びが上回っているため、数値的には改善すると思われ、市税の回復傾向はよい影響を与えていることは間違いないと考えています。

次に、公会計研究所による成果報告書の作成については、総務省の新地方公会計制度改革による発生主義、複式簿記の考え方の導

一誠会 星 雅人議員 市長のマニフェストの成果について

質問(一誠会・星 雅人議員)

津久井市政の代表的な取り組みと予算、その成果について伺います。

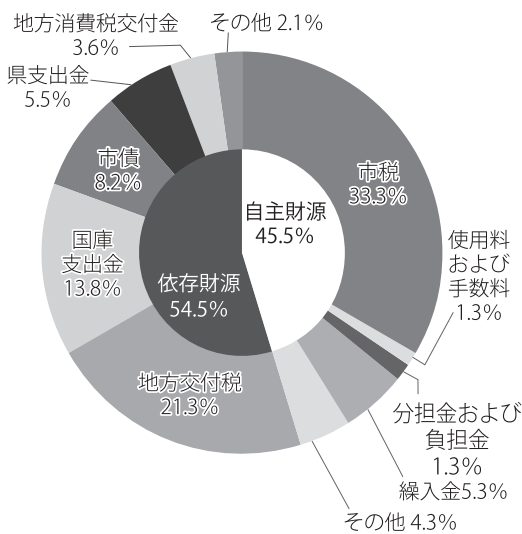
答弁(市長)

私のマニフェストについては、市民一人ひとりが主役となる住みよい大田原市の実現を目標として6本の大きな柱から成る37項目を掲げ、市政運営の基本方針として取り組んできました。マニフェストの進捗状況については、12項目が達成、23項目が順調に推移、1項目が不十

入という公会計改革の途上において、総務省方式改定モデルと公会計研究所における考え方という2つの別の視点から、資産等の状況を評価すると、どのような結果が得られるかを検証するため業務を委託しています。公会計改革は、現在実施している事務事業評価や今後検討を要する公共施設白書作成を含む公共施設マネジメント等も一体となったものと考えています。したがって、公会計研究所の成果報告書を参考に直ちに予算へ反映するということではなく、長期的視点に立って自治体経営の効率化、健全化等につなげていきたいと考えています。

分としながら一部実現、1項目が未達成という状況であり、おむね市民の皆様方への約束を守る事ができたものと思っています。

代表的な取り組みとして、市長の退職金ゼロの実現、副市長1人制の実現、また市民参加による事業仕分けの実施については、地方主権時代の到来に備えて、私みずから先頭に立ち、大田原改革として行財政改革に取り組んできました。学校給食費の無料化について



平成26年度の歳入予算の内訳

は、段階的に補助を実施し、平成24年10月からは全額無料とし、単年度で約2億7000万円の予算増となりました。グリーン・ツーリズムについては、平成25年度は各事業とも軌道に乗ってききましたので、今後さらなる推進が図られるものと期待をしています。また、菜園付き小さな別荘(クラインガルテン)構想の推進については、グリーン・ツーリズムの中で可能性があるかどうかを模索していきたいと考えています。私の掲げたマニフェストについては、この4年間で一定の成果を上げることができたと自負をしています。